

”堀抜用水堰”の工事が完了しました

総事業費：約3.8億円

堀抜用水堰の工事概要

堀抜用水堰は、昭和5年に那須烏山市内を流れる一級河川那珂川に造成され、下流の受益地（40.1ha）に農業用水を供給しています。

しかし、取水口のゲート操作位置が低いため、洪水時のゲート操作に危険が伴っていました。また、老朽化が著しく、ゲート機能が不能となる懸念が増しており、下流の地域に膨大な被害が出ることが想定されるため、工事を実施しました。

取水口位置



取水口の様子（工事実施前）

手動ゲート



通常時



洪水後

流木・草・ごみ等により取水に影響がでることも...

工事実施後

令和5年11月から工事に着手し、令和7年8月に完成しました。洪水時にも安全に操作できる構造に改修し、「**災害の未然防止**」と「**農業用水の安定供給**」を図りました。

電動式ゲート



ICT技術を活用した水管理システムの導入

- ・カメラによる遠隔監視・制御システム
- ・遠隔でゲート操作が可能

施設管理者の管理労力を低減